

NPO法人グランドワーク三島 御中

三島駅南口再開発に関する件

8月8日（火）の新聞折込チラシを拝見し、科学的エビデンスのない一方的な決め付けと過激派とも思わせるようなアジテーションには、GW三島のこれまでの取り組みを評価してきた一人として、極めて残念な思いに駆られました。

貴法人が主張する『自然との融和』は大切だと思いますが、一方で長期的な視点に基づいた『町のあり方』についての取り組みも重要と考えます。

つまり、少子高齢化による人口減少とともに税収が減っていく中、健全な財政に裏打ちされた医療・福祉・介護などの充実した市政が求められてきます。

そのためには、ノウハウを持った実力ある民間の活力を導入し、経済基盤を強化していくことが喫緊の課題であると考えます。

そこで、隣接する一つの市町の近況を見てみましょう。

【沼津市】

昔から東部の中核都市として発展してきましたが、新幹線の駅誘致に反対したこともあって町の賑わいもしだいに薄れ、現在は人口減少が進んでいます。

【長泉町】

しっかりした財政基盤により、充実した医療・福祉の町政を行っているため、安心して暮らせる町として人口増加がめざましく、全国から注目を集める存在になっている。

以上いくつか述べてきましたが、『地域経済の活性化』と『自然保護』との共存共栄を目指し、知恵を絞った努力を続けていくことが肝要と考えます。

市内 68歳 男性